

デートDV防止に関する実践事例

兵庫県教育委員会事務局人権教育課

【 目 次 】

| | | |
|-------|---|----|
| I | 「デートDV」の表記について | 1 |
| II | DV（ドメスティック・バイオレンス）について | 2 |
| III | 「デートDV」チェックシート（例） | 3 |
| IV | 相談窓口一覧表 | 4 |
| V | 高校生の「デートDV」に関するアンケート調査（抽出） | 5 |
| VI | 実践事例 | |
| ○事例1 | 「高校生 인권教育パンフレット」を活用した実践事例 | 6 |
| ○事例2 | 「高校生 인권教育パンフレット」を活用した実践事例 | 8 |
| ○事例3 | アサーショントレーニングを活用した実践事例 | 10 |
| ○事例4 | 参加体験型の学習資料を活用した実践事例 | 12 |
| ○事例5 | 「ダイヤモンドランキング」を活用した実践事例 | 14 |
| ○事例6 | 参加体験型の学習資料を活用した実践事例 | 16 |
| ○事例7 | 高校生 인권教育副読本「HUMAN RIGHTS」を活用した実践事例 | 18 |
| ○事例8 | NPOと連携した実践事例（NPOによる出前講座） | 20 |
| ○事例9 | 参加体験型の学習資料を活用した実践事例 （DV防止に向けた研修にかかる講師派遣事業） | 23 |
| ○事例10 | 参加体験型の学習資料を活用した実践事例 （DV防止に向けた研修にかかる講師派遣事業） | 25 |

I 「デートDV」の表記について

1 国

- (1) 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律
(内閣府男女共同参画局、平成13年、平成19年7月改正)

「デートDV」の言葉は、使用されていない。

- (2) 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護のための施策に関する基本的な方針
(内閣府、国家公安委員会、法務省、厚生労働省告示、平成20年1月)

「デートDV」の言葉は使用されていないが、「交際相手からの暴力」という表現はある。

- (3) 平成20年度 男女間における暴力に関する調査 (内閣府、平成21年3月)

「デートDV」とは、「10～20代の若い世代での恋人間の暴力」である。

2 県

- (1) 兵庫県配偶者等からの暴力(DV)対策基本計画(平成18年4月)

「デートDV」とは、「恋人同士などの親密な関係にある若者間の暴力で、相手の交友関係や行動をしぼる、どなったり暴力をふるう、性行為を強要する、避妊に協力しないなど、さまざまな形の暴力を含む。

- (2) 兵庫県配偶者等からの暴力対策基本計画(平成21年4月)

「デートDV」とは、「婚姻関係にない恋人同士の間で起こるDV」である。

3 県教育委員会

- (1) 高校生人権教育パンフレット(平成19年3月)

「デートDV」とは、「交際相手から暴力(言葉の暴力・からだへの暴力・心への暴力・性的暴力)を受けること」である。

- (2) 地域における人権教育の推進をめざして
—ライフステージに応じた参加体験型人権学習実践事例集—(平成20年3月)

「デートDV」とは、「親密な関係にある若者(恋人など)の間の暴力で、身体的な暴力、言葉による暴力、心理的な暴力」などがある。

Ⅱ DV（ドメスティック・バイオレンス）について

1 DV（ドメスティック・バイオレンス）とは ……

恋人や夫婦など、「親しい関係の男女」の間で起きる暴力のことをいいます。
特に、10代から20代の若い世代での恋人間の暴力を「デートDV」と言います。

2 DV（ドメスティック・バイオレンス）の種類

- (1) 身体的な暴力…殴る、蹴る、ものを投げる、刃物で脅す、監禁する等
- (2) 精神的な暴力…ひどい言葉で傷つける、脅す、無断でメールをチェックする、友だちとの交際を制限する、相手の大事な物を壊す等
- (3) 経済的な暴力…お金を要求する、借りたお金を返さない等
- (4) 性的な暴力…性的行為を強要する、見たくないのにビデオや雑誌を見せられる等

3 具体的な対応

(1) 友だちが被害者になっている場合

- ア しっかりと話を聞く。批判しない。
- イ 専門的な相談機関を知らせる。（別紙「相談窓口一覧表」参照）

(2) 友だちが加害者になっている場合

- ア どんな理由があっても、暴力を肯定しない。
- イ 自分の暴力などの行為が、相手の人権を侵害していることに気付かせる。

(3) 自分が被害にあっている場合

- ア 自分を責めない。
- イ 一人で解決しようとしなくて、必ず誰かに相談する。

(4) 対等な人間関係をつくる話し方（「ユーメッセージ」を「アイメッセージ」に変える）

※ユー（YOU）メッセージ…相手の行動を責める話し方

※アイ（I）メッセージ…自分の気持ちや感じていることを言葉で伝える話し方

- ① CD借りっぱなしだよ、早く返して。
→ CDが聞きたいから、聞き終わったら返してほしい。
- ② 私がいるときに長電話するなよ。
→ 私がいるときに長電話されたら、なんだかさびしい。
- ③ 遅いよ、20分も遅刻だよ。
→ 時間通りに来ないから、何かあったんじゃないかと心配したよ。

4 まとめ

- (1) 誰でも、いやな事を無理強いされたら、拒否する権利がある。
- (2) あなたのひと言が、誰かを助けるきっかけになることがある。

Ⅲ 「デートDV」チェックシート

あてはまる場合は「○」、あてはまらない場合は「×」を記入する。

| No. | 項 目 | チェック欄 |
|-----|--|-------|
| 1 | 彼（彼女）は、あなたのことを「ブス」「バカ」など、自分がいやな言い方で呼びますか。 | |
| 2 | 彼（彼女）は、あなたが他の用事で会えなかったりすると、「自分を最優先にしない。」と言ったり、怒ったりしますか。 | |
| 3 | 彼（彼女）は、あなたが話したり、一緒に過ごしたりする相手が誰なのか、また異性なのかなど、知りたがりますか。 | |
| 4 | 彼（彼女）は、よく携帯電話に電話やメールをしてきて、あなたがどこで誰と話したり、会ったりしているかチェックしますか。 | |
| 5 | あなたは、彼（彼女）が怖いと思ったときがありますか。 | |
| 6 | 彼（彼女）は、とても優しいときと怖いときがあって、別人ではないかと思ったことがありますか。 | |
| 7 | けんかしたとき、彼（彼女）は、けんかの原因はあなたのせいだと言って責めますか。 | |
| 8 | 彼（彼女）は、あなたの携帯電話をチェックして、異性の友人のメモリーを消せと言ったり、消してしまったりしますか。 | |
| 9 | 彼（彼女）は、あなたに「好きならいいだろう」と、あなたが気が進まないことを無理やりしたことがありますか。 | |
| 10 | 彼（彼女）のメールにすぐに返信しないと、どうして遅れたのか、その理由を言え、と言われたことがありますか。 | |

○の合計数 個

IV 相談窓口一覧表

1 兵庫県の窓口

| 相談機関名 | 電話番号 | 開設曜日、時間等 |
|--|--------------|-------------------|
| 県立男女共同参画センター | 078-360-8551 | 月～土曜日 9:30～16:30 |
| 県立女性家庭センター | 078-732-7700 | 毎日 9:00～21:00 |
| 中央こども家庭センター | 078-923-9966 | 月～金曜日 9:00～17:45 |
| 児童虐待防止 24時間ホットライン | 078-921-9119 | 毎日 24時間 |
| 西宮こども家庭センター | 0798-71-4670 | 月～金曜日 9:00～17:45 |
| 児童虐待防止 24時間ホットライン | 0798-74-9119 | 毎日 24時間 |
| 川西こども家庭センター | 072-756-6633 | 月～金曜日 9:00～17:45 |
| 児童虐待防止 24時間ホットライン | 072-759-7799 | 毎日 24時間 |
| 姫路こども家庭センター | 079-297-1261 | 月～金曜日 9:00～17:45 |
| 児童虐待防止 24時間ホットライン | 079-294-9119 | 毎日 24時間 |
| 豊岡こども家庭センター | 0796-22-4314 | 月～金曜日 9:00～17:45 |
| 児童虐待防止 24時間ホットライン | 0796-22-9119 | 毎日 24時間 |
| ひょうごっ子悩み相談センター | 0120-783-111 | 毎日 9:00～21:00 |
| 阪神教育事務所分室 | 0798-23-2120 | 月～金曜日 9:00～17:00 |
| 宝塚教育振興室分室 | 0797-85-6546 | 月～金曜日 9:00～17:00 |
| 播磨東教育事務所分室 | 079-421-0115 | 月～金曜日 9:00～17:00 |
| 加東教育振興室分室 | 0795-43-0065 | 月～金曜日 9:00～17:00 |
| 播磨西教育事務所分室 | 079-224-1152 | 月～金曜日 9:00～17:00 |
| 光都教育振興室分室 | 0791-58-2326 | 月～金曜日 9:00～17:00 |
| 但馬教育事務所分室 | 0796-24-1520 | 月～金曜日 9:00～17:00 |
| 丹波教育事務所分室 | 079-552-6059 | 月～金曜日 9:00～17:00 |
| 淡路教育事務所分室 | 0799-22-4152 | 月～金曜日 9:00～17:00 |
| ひょうごっ子いじめ相談 24時間ホットライン (昼間) フリーダイヤル | 0120-924-111 | 毎日 9:00～21:00 |
| (夜間) 一般電話 | 0795-42-6559 | 毎日 21:00～9:00 |
| ひょうごっ子「ネットいじめ情報」相談 | 06-4868-3395 | 月～土曜日 13:00～19:00 |

2 兵庫県警の窓口

| 相談機関名 | 電話番号 | 開設曜日、時間等 |
|------------------------|--------------|------------------|
| 性犯罪被害 110番レディースサポートライン | 078-351-0110 | 月～金曜日 9:00～17:00 |
| ストーカー・DV相談 | 078-371-7830 | 毎日 24時間 |
| 少年相談室 ヤングトーク | 0120-786-109 | 月～金曜日 9:00～17:30 |

3 その他の窓口

| 相談機関名 | 電話番号 | 開設曜日、時間等 |
|---------------------|--------------|------------------|
| 神戸地方法務局 女性の人権ホットライン | 078-393-0339 | 月～金曜日 8:30～17:15 |
| 神戸地方法務局 子どもの人権 110番 | 078-393-0118 | 月～金曜日 8:30～17:15 |
| 神戸市こども家庭センター | 078-382-2525 | 月～金曜日 8:45～17:30 |
| 児童虐待防止 24時間ホットライン | 078-382-1900 | 毎日 24時間 |

V 高校生の「デートDV」に関するアンケート調査（抽出）

○ DV（ドメスティック・バイオレンス）

恋人や夫婦など、「親しい関係の男女」の間で起きる暴力

○ デート DV

DVの中で、恋人同士など親密な関係にある若者間の暴力

（種類）身体的暴力 …… 殴る、蹴る、ものを投げる 等

精神的暴力 …… どなる、無断でメールチェックをする 等

経済的暴力 …… お金を要求する 等

性的暴力 …… 性的行為を強要する 等

1 調査実施期間

平成21年10月21日から平成21年11月30日の間

2 調査対象

県立高等学校2年生 19校（女子420人、男子299人、計719人）

3 調査結果（概要）

| 種類 | 区別 | 質問項目 | 女子 % | 男子 % | 全体 % |
|-------|----|--|---------|---------|---------|
| 身体的暴力 | 加害 | 交際している異性をなぐったり、蹴ったりしたことがある。 | 4.0 | 3.0 | 3.6 |
| | 被害 | 交際している異性になぐられたり、蹴られたりしたことがある。 | 2.9 | 6.4 | 4.3 |
| 精神的暴力 | 加害 | 交際している異性をどなったり、「ばかにする」言葉を言ったりしたことがある。 | 14.8 | 14.4 | 14.6 |
| | 被害 | 交際している異性にどなられたり、「ばかにする」言葉を言われたりしたことがある。 | 18.3 | 14.0 | 16.6 |
| | 加害 | 交際している異性の携帯電話の通話履歴やメールをチェックしたり、電話番号やメールアドレスを消したりしたことがある。 | 6.9 | 3.3 | 5.4 |
| | 被害 | 交際している異性から、携帯電話の通話履歴やメールをチェックされたり、電話番号やメールアドレスを消されたりしたことがある。 | 12.1 | 6.4 | 9.7 |
| 性的暴力 | 加害 | 「好きならいいだろう」と、交際している異性の気が進まないことを無理やりしたことがある。 | 2.9 | 3.3 | 3.1 |
| | 被害 | 「好きならいいだろう」と、交際している異性に自分の気が進まないことを無理やりさせられたことがある。 | 8.3 | 1.7 | 5.6 |
| 経済的暴力 | 加害 | 交際している異性から借りたお金を返さなかったり、無理やりデート等の費用を出させたりしたことがある。 | 1.0 | 2.0 | 1.4 |
| | 被害 | 交際している異性に貸したお金を返してもらえなかったり、無理やりデート等の費用を出させられたりしたことがある。 | 1.4 | 2.0 | 1.7 |

※交際経験のある女子は56.0%、男子は54.2%、全体では55.2%

VI 実践事例

○ 事例1 「高校生 인권教育パンフレット」を活用した実践事例

1 活用資料

高校生 인권教育パンフレット「かけがえのない あなただから」(デートDV)

2 指導目標

デートDVに対する正しい認識を持ち、デートDVの被害者にも加害者にもならず、男女が互いに尊重し合い、対等な関係を構築しようとする意欲や態度を培う。また、デートDVの被害にあった場合、一人で悩むことがないように、専門の相談機関や具体的な対応について理解させる。

3 準備物

ゴルフボール 10 個、ボールを入れる箱

4 指導展開 (1時間)

| 学 習 活 動 | 指 導 上 の 留 意 点 |
|--|--|
| <p>1 デートDVについて学習する。 (1) ことばの暴力 (2) からだへの暴力 (3) 心への暴力 (4) 性的暴力</p> <p>2 参加体験型の学習資料「愛の重さ」を学習する。 (1) Aは「質問カード」に従い、Bに質問をする。 (2) Aは、Bの回答により、ゴルフボールをBの手のひらに置くか、箱に入れる。 (3) Aは、Bの回答を「質問カード」に記録し、同じように質問10まで繰り返す。 (4) 右手・左手のゴルフボールの数を記録する。 (5) A・B交替する。</p> <p>3 「左手の重さ」「右手の重さ」について話し合う。 (1) 左手の重さは、何を表しているのか。 (2) 右手の重さは、何を表しているのか。</p> <p>4 本時のまとめをする。 (1) 自分が被害にあった場合 (2) 友だちが被害にあった場合 (3) 相談先</p> | <p>○ パンフレットを用いて、デートDVの基本的なことについて認識させる。</p> <p>○ 日常生活の中で、加害者にも被害者にもなることに気付かせる。</p> <p>○ 二人一組となり、質問にしたがって相互に協力して行わせる。</p> <p>○ 他者の意見と比較するのではなく、自分の考えを尊重しながら回答させる。</p> <p>○ 思ったことを自由に発表させる。 ○ 左手の重さは「自己犠牲の度合い」であり、右手の重さは「自分のわがままの度合い」が言動の背景にあることに気付かせる。 ○ 自分のわがままは、相手の犠牲の上に成立していることに気付かせる。</p> <p>○ これまでの自分の言動を振り返らせるとともに、被害にあったとき、一人で悩むことのないよう、具体的な対応を理解させる。</p> |

○ 参加体験型学習資料「愛の重さ」

二人一組になり、質問者・回答者を決定し、相互に行う。（全部で10問）
 「YES」の場合は、指定された手の上にゴルフボールを乗せる。
 「NO」の場合は、箱にゴルフボールをいれる。
 質問が終われば、それぞれの手の上のゴルフボールの数を記録する。

| No. | 質問項目 | 回答・対応 | |
|-----|---|-------|----|
| | | YES | NO |
| 1 | さびしかったら、たとえ深夜でも彼（彼女）に電話やメールをする。 | 右手 | 箱 |
| 2 | 私の誕生日や2人の記念日に、風邪を引いて寝込んでしまう彼（彼女）は、最低だと思う。 | 右手 | 箱 |
| 3 | 急に彼（彼女）から会おうと誘われたら、友人との以前からの約束があったとしても、断って相手と会う。 | 左手 | 箱 |
| 4 | 彼（彼女）の志望校が東京の大学だと知ったら、毎日一緒に過ごせる地元の大学を勧める。 | 右手 | 箱 |
| 5 | 彼（彼女）とケンカするのは、私の方が気が利かなかったり、相手の立場で考えたりしていないからだと思う。 | 左手 | 箱 |
| 6 | 彼（彼女）が私の携帯のメールチェックするのは、私のことを思ってくれているからだし、相手に隠し事をしたくないから我慢できる。 | 左手 | 箱 |
| 7 | 彼（彼女）が望むなら、髪型や服装を相手の好みに合わせて変えることができる。 | 左手 | 箱 |
| 8 | 彼（彼女）が二人の会話やデートの内容を親に話していると腹が立つ。 | 右手 | 箱 |
| 9 | 「恋人だから何とかしてよ」と彼（彼女）に言われれば、高額なプレゼントでもなんとかして用意する。 | 左手 | 箱 |
| 10 | 彼（彼女）が、毎日何度も自身のプログ（プロフ）をチェックしているのは許せない。 | 右手 | 箱 |

※ ゴルフボールの数

左手 個

右手 個

○ 事例2 「高校生人権教育パンフレット」を活用した実践事例

1 活用資料

高校生人権教育パンフレット「かけがえのない あなただから」(デートDV)

2 指導目標

デートDVに対する正しい認識を持ち、デートDVの被害者にも加害者にもならず、男女が互いに尊重し合い、対等な関係を構築しようとする意欲や態度を培う。また、デートDVの被害にあった場合、一人で悩むことがないように、専門の相談機関や具体的な対応について理解させる。

3 指導展開(1時間)

| 学 習 活 動 | 指 導 上 の 留 意 点 |
|---|---|
| <p>1 デートDVについて学習する。</p> <p>(1) ことばの暴力</p> <p>(2) からだへの暴力</p> <p>(3) 心への暴力</p> <p>(4) 性的暴力</p> | <p>○ パンフレットを用いて、デートDVの基本的な事について認識させる。</p> <p>○ 日常生活の中で、加害者にも被害者にもなることに気付かせる。</p> |
| <p>2 A子と母親の会話を読んで、話し合う。</p> <p>(1) A子が、デートDVの被害者であることを自覚していない場合</p> <p>(2) A子が、デートDVの被害者であることを自覚している場合</p> | <p>○ デートDVについて、A子が自覚していない場合、自覚している場合に分けて、A子の発言を考えさせる。</p> <p>○ 自分の考えを明確にさせた上で、隣の人と話し合わせる。</p> |
| <p>3 A子・B男が、お互いを認め合い、尊重し合うような関係になるためには、どうすればよいのか考える。</p> <p>(1) A子 自分の思いや願いを伝える 等</p> <p>(2) B男 相手の思いや願いを尊重する 等</p> | <p>○ 男女共同参画の視点を踏まえながらA子・B男のそれぞれの立場から考えさせる。</p> <p>○ デートDVは、「個人的な問題」として片づけられない課題であることに気付かせる。</p> |
| <p>4 本時の学習を振り返り、感想を書く。</p> | <p>○ これまでの自分の言動を振り返らせるとともに、今後の対応について考えさせる。</p> |

○ A子と母親の会話

高校1年生のA子と母親は、友だち感覚の何でも話せる親子です。

A子には、付き合い始めてから3ヶ月の彼B男がいます。友人からは、「今が一番楽しいときだね。」と冷やかされながらも、毎日楽しそうに学校へ行っているようです。

一方、母親はそんなA子のことが少し心配な様子です……。

○A子：ねえ、髪を切ったの。どう、似合うかな？

○母親：あなた、せっかく伸ばした髪をどうして切ったの？高校に入ったら、また髪を伸ばせると、あんなに喜んでいたのに……。

B男とお付き合いするようになってから、少し変よ。いつも携帯ばかり気にしているし……。

○A子：そんなことないよ。B男からのメールや電話を楽しみにするのは、普通じゃない。ほら、さっき写メ送ったら、即、「超かわいい」って返してくれたよ。

○母親：でも、やっぱり少し気になるの。携帯も最近壊すし、それに、ときどきアザを作っているじゃないの。あなた、学校でいじめられているんじゃないの？お母さんには、ちゃんと話して！

○A子：うるさいなあ、そんなことないよ。もう、ほっといてよ！

○母親：B男って、本当に大丈夫なの？

お母さん、一度しか会っていないから…。あなたのことがとても心配なの。ねえ、B君って、どんな人？

○A子：……

1 A子が、デートDVの被害者であることを自覚していない場合

2 A子が、デートDVの被害者であることを自覚している場合

○ 事例3 アサーショントレーニングを活用した実践事例

1 活用資料

高校生（P45～P46）

－ いまをどう生きるか －（平成22年度版 兵庫県高等学校生徒指導協議会）

2 指導目標

アサーショントレーニングにより、コミュニケーション技能を高め、自分を大切にするとともに、他者も大切にし、よりよい人間関係の構築に向けて主体的に取り組もうとする意欲や態度を育成する。

また男女間においても、アサーティブな自己表現が大切であることに気付かせ、デートDVについても考えさせる。

3 指導展開（1時間）

| 学 習 活 動 | 指 導 上 の 留 意 点 |
|--|--|
| 1 アサーショントレーニング①に取り組む。 | ○ 生徒にとって、より身近なものとなるよう場面設定を工夫するとともに、自由に記入させる。 |
| 2 3つの自己表現の方法について理解する。 (1) 攻撃的な自己表現 自己肯定、他者否定 (2) 非主張的な自己表現 自己否定、他者肯定 (3) アサーティブな自己表現 自己肯定、他者肯定 | ○ 自己肯定（否定）、他者肯定（否定）の視点で、3種類の表現方法を整理しながら理解させる。 |
| 3 アサーショントレーニング①の内容が、どの自己表現なのか、各自考える。 | ○ どの自己表現も認めながら、自他を大切にしたい自己表現の方法を考えさせる。 |
| 4 アサーショントレーニング②に取り組む。 | ○ 自己表現の内容がアサーティブな自己表現になっているか、隣の人と話し合わせる。 |
| 5 アサーショントレーニング③に取り組む。 | ○ 場面設定を「あなたと友だち」から、「あなたと彼（彼女）」に置き換え、考えさせる。 |
| 6 デートDVについて考える。 (1) デートDVとは (2) 被害にあった場合の対応 (3) 相談先 | ○ 男女間におけるコミュニケーションにおいても、アサーティブな自己表現が大切であることに気付かせ、デートDVについて考えさせる。 |

○ アサーショントレーニング

1 アサーショントレーニング①

あなたは、友だちと映画に行く約束をしていました。ところが、約束の時間を過ぎても、友だちは待ち合わせ場所に来ません。しかも、何の連絡もありません。
やっと友だちが来たのは、約束の時間より 20 分遅れてのことでした。

○ あなたなら、その友だちに何と言いますか。

| |
|-------|
| <hr/> |
| <hr/> |

2 アサーショントレーニング②

○ 自分の気持ちを伝えるとともに、相手への配慮もある言い方を考えてみましょう。

| |
|-------|
| <hr/> |
| <hr/> |

3 アサーショントレーニング③

あなたは、彼（彼女）とコンサートに行く約束をしていました。コンサートのチケットは、あなたが苦労して入手したものです。ところが、約束の時間を過ぎても、彼（彼女）は待ち合わせ場所に来ません。しかも、何の連絡もありません。
やっと彼（彼女）が来たのは、コンサートが始まって 15 分も経ったときでした。

○ あなたなら、その彼（彼女）に何と言いますか。

| |
|-------|
| <hr/> |
| <hr/> |

【参考資料】

※ DV（ドメスティック・バイオレンス）とは ……

恋人や夫婦など、親しい関係の男女の間で起きる暴力のことをいいます。

※ デートDVとは ……

DV（ドメスティック・バイオレンス）のうち、恋人同士などの親密な関係にある若者間の暴力をいいます。

(1) 身体的な暴力 …… ながる、ける、ものを投げる、脅す、監禁する等

(2) 精神的な暴力 …… ひどい言葉で傷つける、おどす、無断でメールをチェックする等

(3) 経済的な暴力 …… お金を要求する、借りたお金を返さない等

(4) 性的な暴力 …… 性的行為を強要する等

○ 事例4 参加体験型の学習資料を活用した実践事例

1 活用資料

- (1) 参加体験型の学習資料
- (2) 「デートDV」チェックシート

2 指導目標

交際相手の趣味や性格が、自分の好みと違う場合の対応について考えさせることを契機として、デートDVについて考えさせる。また、交際相手との関係においては、お互いの思いや願いを尊重し合う姿勢が大切であることを理解させる。

3 指導展開（1時間）

| 学 習 活 動 | 指 導 上 の 留 意 点 |
|---|--|
| <p>1 交際相手の趣味が自分と異なる場合、どうするか考える。</p> <p>(1) ワークシートに記入する。</p> <p>(2) 全体で話し合う。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○ 現在、交際相手がいない者も、将来のこととして考えるよう指示する。 ○ 「相手に言う」「相手から言われる」という双方向から考えさせるとともに様々な考え方があふる事に気付かせる。 ○ いずれの考え方も尊重させる。 |
| <p>2 「時間を守る」ということについて、交際相手と自分の考え方が異なる場合、どうするか考える。</p> <p>(1) ワークシートに記入する。</p> <p>(2) 全体で話し合う。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の意に反して、交際相手の好みに合わせようと努力する思いに気付かせる。 |
| <p>3 交際相手に自分の思いを伝えたのに、相手が一変に変わろうとしない場合、どうするか考える。</p> <p>(1) ワークシートに記入する。</p> <p>(2) 全体で話し合う。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○ お互いの思いや願いを尊重し合っているか、という視点で考えさせる。 |
| <p>4 デートDVチェックシートにより、自分の言動を点検する。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○ チェックシートにより、これまでの自分の言動を点検させる。 |
| <p>5 本時のまとめをする。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○ デートDVについて理解させるとともに、今後の在り方を考えさせる。 ○ 一人で抱え込むことなく、困ったときは、友だちや関係機関に相談することを知らせる。 |

○ 参加体験型の学習資料

1 交際相手の趣味は「野球観戦」であり、自分は「サッカー観戦」です。交際相手と自分の趣味が違う場合、あなたならどうしますか。あてはまる番号を○で囲み、その理由も書きましょう。

- (1) 相手に伝える。 (2) 黙っている。

※ どのように伝えますか。

2 交際相手から、「自分の趣味は『野球観戦』だから、『サッカー観戦』の趣味を変えてほしい。」と言われたら、あなたならどうしますか。あてはまる番号を○で囲み、その理由も書きましょう。

- (1) 趣味を変える。

- (2) 趣味を変えない。

3 交際相手は「時間にとてもルーズ」な面があるが、自分は「時間には几帳面」なほうです。あなたなら、どうしますか。あてはまる番号を○で囲み、その理由も書きましょう。

- (1) 交際相手に直してくれるように伝える。 (2) 黙ってがまんしている。

※ どのように伝えますか。

4 交際相手から、「時間にとてもルーズなので、時間をきちんと守ってほしい。」と言われたら、あなたならどうしますか。あてはまる番号を○で囲み、その理由も書きましょう。

- (1) 守る努力をする。

- (2) 変えない。

5 交際相手に、「あなたの趣味である野球観戦もよいが、たまには自分の趣味であるサッカー観戦にも行こうよ。」と頼んでも、相手が一向に応じてくれない場合、あなたならどうしますか。その理由もあわせて書きましょう。

① どうするか

② 理由

○ 事例5 「ダイヤモンドランキング」を活用した実践事例

1 指導目標

身近な男女交際を取り上げ、デートDVに潜む課題に気付かせる。また、属性や世間体にとらわれず、個人の尊厳と両性の本質的平等に立脚した異性観・結婚観に基づき、主体的に判断したり、行動したりしようとする意欲や態度を育てる。

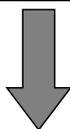
2 指導展開（1時間）

| 学 習 活 動 | 指 導 上 の 留 意 点 |
|---|---|
| <p>1 ワークシートに、自分が交際相手に求める条件を、優先順位を考えながら5項目記入する。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○ 交際相手に求める条件を、理由も含めて5項目考えさせる。5項目なくてもよいことを伝える。 ○ 記入した条件の中に、差別や偏見につながる項目があれば指導する。 ○ 優先順位については、同じ順位があっても良いこととする。 |
| <p>2 交際相手に求める条件について、隣の人と話し合う。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○ 選んだ理由も含めて、自他の価値観を尊重し合いながら、話し合わせる。 |
| <p>3 デートDVについて学習する。 (1) ことばの暴力 (2) からだへの暴力 (3) 心への暴力 (4) 性的暴力</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○ デートDVの基本的な事について説明するとともに、交際相手の価値観を受け入れず、自分の理想や好みを一方的に押し付けることがデートDVにつながることに気付かせる。 |
| <p>4 学習活動2、3を踏まえ、再度ワークシートに自分が交際相手に求める条件を、優先順位を考えながら記入する。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○ 交際相手に求める条件を、再度考えさせて記入させる。 ○ 求める条件を追加・修正しても良いし、そのままでもよいことを知らせる。 |
| <p>5 本時のまとめをする。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の異性観を振り返らせるとともに、今後の生き方について考えさせる。 |

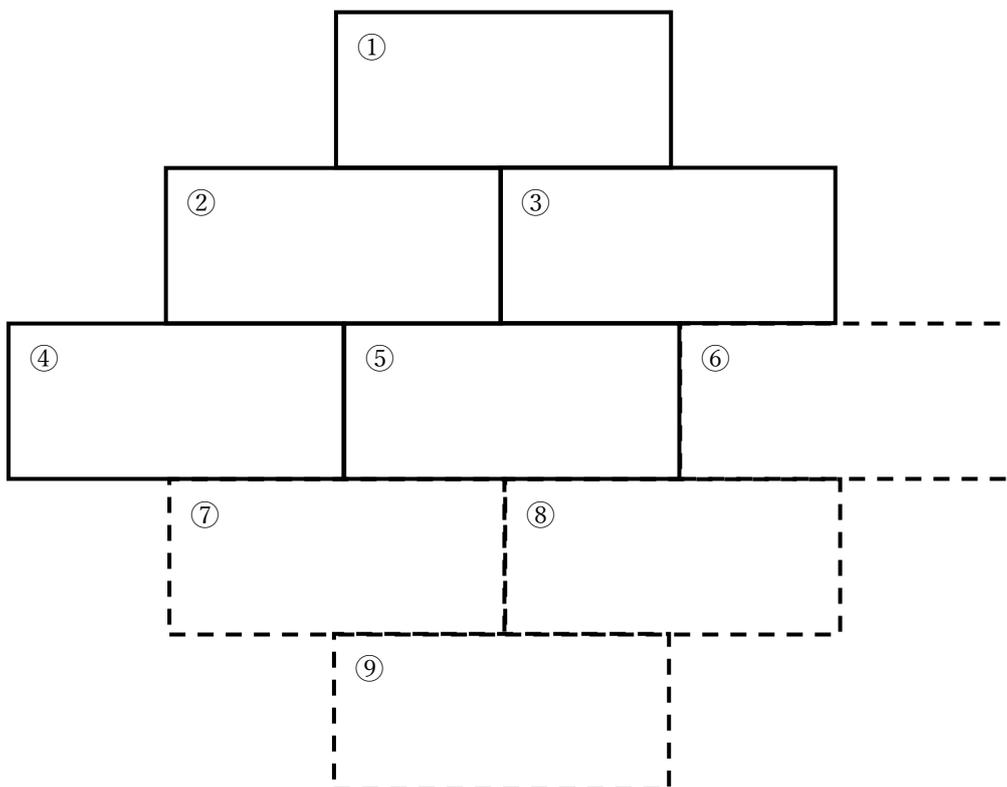
○ ワークシート

- 1 あなたが交際相手に求める条件を、その理由も含めて5項目記入しましょう。また、記入した条件に優先順位をつけましょう。

| No. | 求める条件 | 理由 | 優先順位 |
|-----|-------|----|------|
| 1 | | | |
| 2 | | | |
| 3 | | | |
| 4 | | | |
| 5 | | | |



- 2 あなたが交際相手に求める条件を、最低5個、優先順位を考えながら記入しましょう。



○ 事例6 参加体験型の学習資料を活用した実践事例

1 活用資料

- (1) 高校生人権教育パンフレット「かけがえのない あなただから」(デートDV)
- (2) 地域における人権教育の推進をめざして
 - － ライフステージに応じた参加体験型人権学習事例集 － (デートDV)

2 指導目標

デートDVに対する正しい認識を持ち、デートDVの被害者にも加害者にもならず、男女が互いに尊重し合い、対等な関係を構築しようとする意欲や態度を培う。また、デートDVの被害にあった場合、一人で悩むことがないよう、専門の相談機関や具体的な対応について理解させる。

2 指導展開(1時間)

| 学 習 活 動 | 指 導 上 の 留 意 点 |
|--|---|
| 1 参加体験型の学習資料を読んで考える。 (1) A男 ア 部活を休ませる イ 部活に行かせる (2) B子 ア 部活を休む イ 部活に行く | <ul style="list-style-type: none"> ○ A男、B子の立場にたち、自分ならどうするか、理由も含めて発表させる。 ○ 様々な考え方があがるが、すべての意見を尊重させる。 |
| 2 デートDVについて学習する。 (1) ことばの暴力 (2) からだへの暴力 (3) 心への暴力 (4) 性的暴力 | <ul style="list-style-type: none"> ○ パンフレットを用いて、デートDVの基本的な事について認識させる。 ○ デートDVの被害者にも、加害者にもならず、男女が互いに尊重し合うことの大切さを理解させる。 |
| 3 自他の思いや願いを大切にしたい言い方を考える。 (1) A男①～③、B子①～②を考え、記入する。 (2) 隣の人と話し合う。 (3) 全体で話し合う。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 自他の思いや願いを大切にしたい言い方をすることが、互いの人格を尊重した関係につながることを理解させる。 |
| 4 本時のまとめをする。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ これまでの自分の言動を振り返らせるとともに、今後の在り方を考えさせる。 |

○ 参加体験型の学習資料

A 男：「日曜日に会わないか？見たい映画があるから。」
 B 子：「うーん…。その日、悪いけど、部活なんだよね。」
 A 男：「部活なんか、さぼればいいじゃん。」
 B 子：「試合が近いから、行かないと…」
 A 男：「試合と俺と、どっちが大事なんだよ！」
 B 子：「でも…、今度の試合、大事な試合なんだ。絶対に負けたくないんだよね。」
 A 男：「無駄だよ。どうせ勝てっこないって。俺が、よせって言っているんだから、やめろよ！」
 B 子：「。」

1 あなたがA男、B子なら、どうしますか。あてはまるものを「○」で囲み、その理由も書きましょう。

(1) 自分がA男ならば ……

- ア 部活を休ませる
- イ 部活に行かせる

【理由】

(2) 自分がB子ならば ……

- ア 部活を休む
- イ 部活に行く

【理由】

2 自他の思いや願いを大切にしたい言い方を考え、 に書き込みましょう。

A 男：「日曜日に会わないか？見たい映画があるから。」
 B 子：「うーん…。その日、悪いけど、部活なんだよね。」

A男①：「」

B子①：「」

A男②：「」

B子②：「」

A男③：「」

B 子：「ありがとう！」

○ 事例7 高校生人権教育副読本「HUMAN RIGHTS」を活用した実践事例

1 活用資料

高校生人権教育副読本「HUMAN RIGHTS」(P14)

2 指導目標

男女共同参画社会の実現を阻む要因のひとつである「性別による固定的な役割分担意識」について、日々の生活を見つめ直すとともに、「デートDV」についても考えさせ、男女共同参画社会の実現に向けて、生徒が主体的に取り組もうとする意欲や態度を育成する。

なお、「社会的性別」は、それ自体に良い、悪いの価値を含むのではない。また、「社会的性別の視点」(「社会的性別」が、性差別、性別による固定的な役割分担、偏見等につながっている場合もあり、これらが社会的に作られたものであることを意識していこうとするもの)でとらえられる対象には、男女共同参画社会の形成を阻害するものがあるが、阻害しないと考えられるものがあるため、指導する上で配慮する必要がある。

3 指導展開(1時間)

| 学 習 活 動 | 指 導 上 の 留 意 点 |
|---|--|
| 1 日常生活の中で、「〇〇らしく」「〇〇のくせに」などの表現について発表する。 | ○ 高校生人権教育副読本を用いて、「～らしく」「～のくせに」などの表現は、何気なく使用していることに気付かせる。 |
| 2 ワークシート①に取り組む。 | ○ 選択した理由を明確にししながら、グループで話し合わせる。 ○ 他者の考えを尊重させるとともに、様々な意見があることに気付かせる。 ○ 性別による固定的な役割分担意識を強調し過ぎると、男女共同参画社会の形成を阻害していることに気付かせる。 |
| 3 ワークシート②に取り組む。 (1) 賛成の立場 (2) 反対の立場 | ○ 賛成、反対の立場を明確にし、話し合わせる。 ○ 自己肯定(否定)、他者肯定(否定)の観点から、デートDVについて考えさせる。 |
| 4 本時のまとめをする。 | ○ 男女共同参画社会の実現に向けて、日常生活を振り返り、主体的に取り組もうとする意欲や態度を育成する。 |

○ ワークシート①

次の項目を、「あっていい違い」「あってはいけない違い」に分けましょう。

| No. | 項 目 | いい違い | いけない違い |
|-----|----------------------------|------|--------|
| 1 | 理科系は男子、文化系は女子が向いている。 | | |
| 2 | 男子は浪人しても良いが、女子はしない方が良い。 | | |
| 3 | 運動部のマネージャーは、女子が良い。 | | |
| 4 | マラソン大会で、男女で走る距離が違う。 | | |
| 5 | 就職採用で、男子の方が女子より有利なのは仕方がない。 | | |
| 6 | 来客への湯茶の提供は、女性の方が好感がもてる。 | | |
| 7 | 男は仕事、女は家庭という性別による役割分担が大切だ。 | | |
| 8 | 育児や高齢者介護は、女性の方が向いている。 | | |
| 9 | 育児休暇を取得する男性が少ないのは、仕方がない。 | | |
| 10 | デートでは、彼が彼女をリードした方がいい。 | | |

○ ワークシート②

「こんな彼の考え方を、あなたはどう思いますか。」

彼女は「優柔不断」な性格なので、彼女の意見を聞かないで僕が何でも決めていくと、二人の関係がうまくいく。

| | 彼の考え方に賛成 | 彼の考え方に反対 |
|--------|----------|----------|
| 理 由 | | |

○ 事例8 NPOと連携した実践事例（NPOによる出前講座）

1 指導目標

デートDV防止に関する学習を通して、望ましい人間関係（男女関係）の在り方やいじめのない集団づくりに向けて、生徒が主体的に取り組もうとする意欲や態度をはぐくむ。

また、日常生活において、生徒が男女共同参画社会の実現に向けて、「性別による固定的な役割分担意識」を見直す契機とする。

2 連携機関

NPO法人 女性と子ども支援センター ウィメンズネット・こうべ
（正井 禮子理事長、電話：078-734-1308）

3 指導展開（2時間）

| 学 習 活 動 | 指 導 上 の 留 意 点 |
|--|---|
| <p>1 デートDV防止に取り組んでいるNPOについて知る。</p> <p>2 NPOによる出前講座を受講する。 (1) デートDVチェックシートに記入する。 (2) ロールプレイングをする。(鑑賞する。) (3) デートDV防止に関する講義を受ける。 (4) アンケートを記入する。</p> | <p>○ デートDV防止に取り組んでいるNPOを紹介する。</p> <p>○ 日々の言動を振り返り、思いつくまま記入させる。 ○ ロールプレイングに積極的に参加させ、体験を通して、その立場の人の思いを実感させる。</p> <p>○ 学習した感想を自由に書かせる。</p> |
| <p>1 ロングホームルームで学習する。 (1) 学級のデートDVチェックシート集計結果を見て、気付いたことを発表する。</p> <p>(2) 対等な男女の関係について話し合う。</p> <p>2 自分の日常生活を振り返るとともに、本時の学習を通して気付いたことをまとめる。</p> | <p>○ 集計結果を見て、自分の思いや感想を自由に発表させる。 ○ 課題を明確にさせ、その解決の方法を考えさせる。 ○ デートDVに現れる課題は、様々な人権課題と根底でつながっていることに気付かせる。 ○ お互いの思いや願いを尊重することが大切であることを理解させる。</p> <p>○ 男女相互の理解と協力の大切さを認識するとともに、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとする意欲や態度を育成する。</p> |

○ デートDVチェックシート

あてはまる場合は「○」、あてはまらない場合は「×」を記入しましょう。

| No. | 項 目 | チェック欄 |
|-----|--|-------|
| 1 | 彼（彼女）は、あなたのことを「ブス」「バカ」など、自分がいやな言い方で呼びますか。 | |
| 2 | 彼（彼女）は、あなたが他の用事で会えなかったりすると、「自分を最優先にしない。」と言ったり、怒ったりしますか。 | |
| 3 | 彼（彼女）は、あなたが話したり、一緒に過ごしたりする相手が誰なのか、また異性なのかなど、知りたがりですか。 | |
| 4 | 彼（彼女）は、よく携帯電話に電話やメールをしてきて、あなたがどこで誰と話したり、会ったりしているかチェックしますか。 | |
| 5 | あなたは、彼（彼女）が怖いと思ったときがありますか。 | |
| 6 | 彼（彼女）は、とても優しいときと怖いときがあつて、別人ではないかと思ったことがありますか。 | |
| 7 | けんかしたとき、彼（彼女）は、けんかの原因はあなたのせいだと言って責めますか。 | |
| 8 | 彼（彼女）は、あなたの携帯電話をチェックして、異性の友人のメモリーを消せと言ったり、消してしまったりしますか。 | |
| 9 | 彼（彼女）は、あなたに「好きならいいだろう」と、あなたが気が進まないことを無理やりしたことがありますか。 | |
| 10 | 彼（彼女）のメールにすぐに返信しないと、どうして遅れたのか、その理由を言え、と言われたことがありますか。 | |

○の合計数 個

○ ロールプレイングの概要

※ 隣どうしても演じてみましょう。どんな気持ちがありましたか？

- 1 次の日曜の予定を話し合っている二人。A男とB子の予定が食い違っているようです。
※ 放課後 ほうきを持ってそうじをしている二人。（そばにバケツがある。）

A男：（機嫌よく）今度の日曜日、映画に行かへんか。見たい映画があるんやけど…。
B子：ごめん、その日は、悪いけど部活やねん。
A男：（いらいらした感じで）え～、部活？部活なんて、さぼればええやんか。
B子：でも…、試合が近いから、やっぱり行かんとあかんねん。
A男：（大きな声でどなる）お前！試合と俺と、どっちが大事やねん！
B子：でも…、今度の試合、大事やし、絶対休みたくないんよ。
A男：お前なんか、練習したって勝てへんわ。無駄や。（バケツを思いきりけとばす）俺がやめろって言うてるんやから、やめんかい！
B子：（しよんぼりして）わかったわあ…、そんなに言うんやったら、休むわあ。

- 2 日曜日にデートしているC子とD男。携帯電話をめぐって口論になっているようです。
※ D男は、あらかじめ携帯電話をポケットに入れておく。

C子：ねえ、ねえ。ケータイ持とうでしょ。ちょっと見せてよ。
D男：いいけど…、どないするんや。
C子：いいから見せてよ。（携帯を取り上げる）。あたしと付き合うんなら、他の女の子のアドレスはいらへんでしょ。消しとくからね。
D男：えー、中学校の時から友人のメールアドレスだよ。消さんでもええやんかあ。
C子：（大声でどなる）あたしのことだけが好きやって言うとなんかやないの。他の女の子とつきあいたいわけ？
D男：（だんだん声が小さくなりながら）君のことは好きやけど……、ええよ、わかったよ。他の女の子とは絶対メールもせえへんから。

- 3 E子さんは、F美さんからカレシのことで相談されましたが……。

E子：F美、元気ないね。どないしたん？最近、カレシとうまくいってるの？
F美：（不安そうに）うーん、うまくいってるんやけど…。なんか、いまいちキュークツやねん。
E子：（驚く）えーっ、キュークツって、どんなところが？
F美：うーん。今日も、ここに来る前、誰と会うんやとか、男じゃないんやろなとか、何度も聞いてきて、ほんまにうるさいんや。
E子：えー、カレシ、ヤキモチやいてるんや。愛されてるう～。（語尾を長くのばす）
F美：でも、服装とかもチェックするし…。一日中、何回もメールや電話をしてきて、すぐに返事しなかったら、すっごく怒るんやから。この間なんか、授業中やから返事ができなかった。会った時に大きな声でどなられて、もう恐くって…。
E子：ふーん、でも、それだけF美のことが好きなんだよ。
F美：え～、そうかなあ？
E子：そうやで、すっごくかっこいいカレシやないの。みんな、いいなあって言うとうよ。だから、F美もカレシを怒らせんように、もっと気をつけんとあかんよ。
F美：そうかなあ…、気をつけてみるわあ。じゃあね。（二人別れる）
F美：（独り言）…彼を怒らせんようになって、どうしたらええんかなあ？やっぱり、カレシの言う事を聞かへん私が悪いんかなあ……？

○ 事例9 参加体験型の学習資料を活用した実践事例
(平成23年度DV防止に向けた授業実践事例)

1 指導目標

デートDVについて正しい認識を持たせ、「デートDV」の被害者にも加害者にもならず、男女が互いに尊重し合い、対等な関係を構築する意欲や態度を培う。

2 準備物

「中学生・高校生向けDV防止啓発パンフレット」わたしもあなたも大切に(チェックシート)、ワークシート、付箋、模造紙、筆記用具

3 指導展開(1時間)

| 学 習 活 動 | 指 導 上 の 留 意 点 |
|---|---|
| <p>1 本時の学習内容の目標を確認する。 4コマ漫画を見て、ワークシートに吹き出し部分の会話を考える。 (1) ワークシートに記入する。 (2) 全体で話し合う。</p> <p>2 デートDVについて正しく理解する。 (1) 「デートDV」パンフレットチェックシートの確認項目を記入する。 (2) デートDVとなる行為と被害の現状について説明し、望ましい交際のあり方を考えさせる。</p> <p>3 「互いを大切にし合える交際に必要なこと」とは何か意見を出し、発表する。 班でKJ法を使い、考えをまとめ、問題解決に必要な内容を確認する。</p> <p>4 本時のまとめ</p> | <p>○ 目標を周知徹底する。 ・女子生徒が、男子生徒からデートDVを受けている場面を想定する。 ・各グループ内で2人組をつくり、男子生徒役と女子生徒役を決める。(役割を交代する。) ・各自で考えたデートDV事例をロールプレイを通して、加える立場と受ける立場を体験し、感想を出し合う。</p> <p>○ デートDVの確認項目を振り返らせ、生徒一人一人にとって身近な問題であることを認識させる。「言葉による暴力」や過干渉、束縛などの心理的暴力もDVになることを理解させる。</p> <p>○ 互いの意見を尊重し、批判しない等のKJ法のルールを明確にした上で、話し合いをさせる。</p> <p>○ DVへの正しい認識と互いを尊重した関係づくりの重要性が理解できたか確認する。</p> |

「デートDV」について考えよう！

- 1 グループをつくる。(1グループ6人が基本)
- 2 4コマ漫画を見て、吹き出し部分の会話を考える。
※女子生徒が、男子生徒からデートDVを受けている場面を想定する。
- 3 各グループ内で2人組をつくり、男子生徒役と女子生徒役を決める。(役割を交代する。)
- 4 各自で考えたデートDV事例をロールプレイを通して、加える立場と受ける立場を体験し、感想を出し合う。

Case1

え？

<吹き出し>

また明日だよ

じゃ、

ごめん...

平成22年度作成「わたしもあなたも大切に」～知ってほしい「デートDV」～ (兵庫県教育委員会)

○ 事例 10 参加体験型の学習資料を活用した実践事例
(平成 23 年度 DV 防止に向けた授業実践事例)

1 指導目標

DV は人権侵害であり、犯罪であることを生徒に確認させ、加害者・被害者にならないために自分を大切に、相手を認め尊重しあい、すべての人が、安全で安心できる家庭や社会の実現に向けて、何が大切なのか考える意欲や態度を培う。

2 準備物・参考資料

「HUMAN RIGHTS」P 4～P 5 「命の大切さ、命のつながりに向き合おう」 (兵庫県教育委員会)
ワークシート

3 指導展開(1 時間)

| 学 習 活 動 | 指 導 上 の 留 意 点 |
|---|--|
| <p>1 暴力の種類にはどんなものがあるか考える。 (1) ワークシートに記入する。 (2) 全体で話し合う。</p> | <p>○ 暴力には、身体的なものだけではない(心理的暴力、性的暴力、経済的暴力など)ことを考えさせる。</p> |
| <p>2 「幸福追求権」等、憲法に定められている様々な権利や自由を確認する。 (1) ワークシートに記入する。 (2) 全体で話し合う。</p> | <p>○ 一つ一つの権利や自由について、事例を挙げながら解説し、人権を尊重すべきであることを強調する。</p> |
| <p>3 「HUMAN RIGHTS」P4～P5 を読み、3 つの例について考える。 (1) ワークシートに記入する。 (2) 全体で話し合う。</p> | <p>○ 3 つの例について生徒に考えさせる。 ・研究課題 DV の相談件数の推移 ・ケーススタディ 様々な DV 防止啓発パンフレットが作成されている背景 ・キーワード解説 DV の影響</p> |
| <p>4 DV の被害者にも加害者にもならない、よりよい人間関係をつくるためには、何が大切かを考える。 (1) ワークシートに記入する。 (2) 全体で話し合う。</p> | <p>○ 「交際」のイメージを質問し、「楽しい」「うれしい」「幸せ」等の答えを引き出し、お互いを思いやり、生命や人権を守ることの大切さ、友情の尊さ、生きることの素晴らしさや喜びに気付かせる。</p> |
| <p>5 交際相手だけでなく自分の周りの人との関係においてどういう態度が必要かをまとめる。 (1) ワークシートに記入する。 (2) 全体で話し合う。</p> | <p>○ 「暴力は絶対に許されない、お互いの違いを認め、お互いに尊重しあい、自分も相手も大切にすること」を認識させる。</p> |
| <p>6 本時のまとめをする。</p> | |

- 暴力の種類にはどんなものがあるか考えてみましょう。

| |
|--|
| |
| |
| |

- 「幸福追求権」等、憲法に定められている様々な権利や自由を確認してみましょう。

| |
|--|
| |
| |
| |

- 「HUMAN RIGHTS」P4～P5を読み3つの例について考えてみましょう。

| |
|--|
| |
| |
| |

- DVの被害者にも加害者にもならない、よりよい人間関係をつくるためには、何が大切かを考えてみましょう。

| |
|--|
| |
| |
| |

- 交際相手だけでなく自分の周りの人との関係において、どういう態度が必要か考えてみましょう。

| |
|--|
| |
| |
| |

